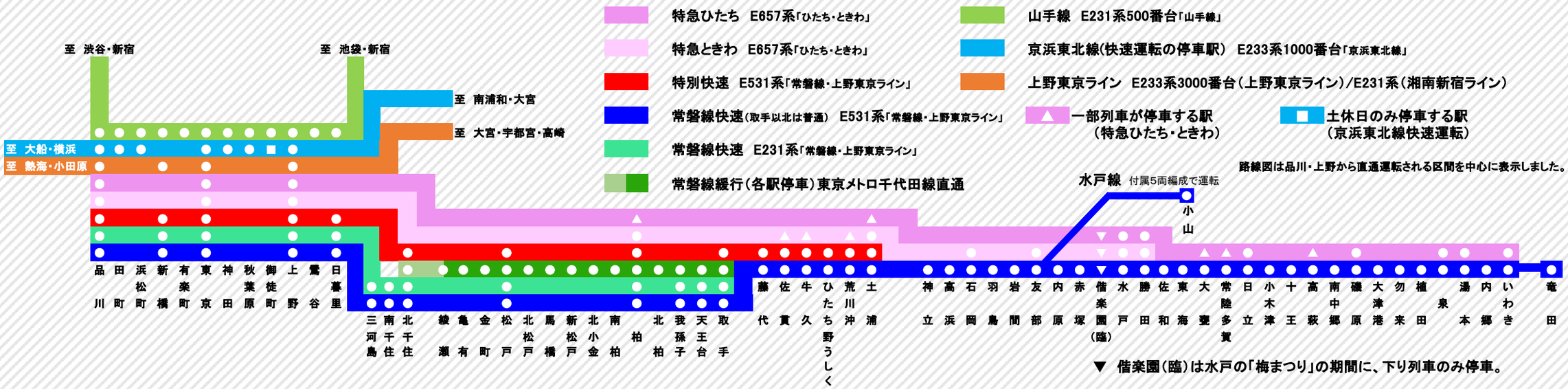
高萩・勝田から品川まで直通運転。交直両用近郊形E531系には一緒に走る仲間が多い!!

KATO PRECISION RAILROAD MODELS

E531系常磐線・上野東京ライン

基本(４両)/増結A(４両)/増結B(2両)/付属編成(５両)

■E531系常磐線・上野東京ラインと仲間たちの運転区間・停車駅■



E657系特急「ひたち」、E231系との並走もカッコいい

茨城県ひたちなか市の勝田から、千葉県を経て上野まで運転される常磐線E531系電車は、平成27年（2015年）3月14日に開業した「上野東京ライン」として、東海道線の品川にも顔を出すようになりました。日中の下り列車は約30分毎に特別快速と快速（取手以北は普通）が品川発で運転され、特別快速は土浦まで、快速は勝田・高萩までの直通運転を実施しています。グリーン車2両を含む基本10両編成に5両付属編成を連結した15両編成で運転されますが、多くの場合、土浦を境に付属編成が増解結されます。
常磐線は上野ー取手間が直流、藤代以北が交流電化区間となっており、取手ー藤代間に交直流を切り替えるデッドセクションがあります。直流と交流の両区間を走行できるE531系のモハE531（パンタ付車）の屋上には、直流電車では見られない切り替え用機器が装備されており、ディティールのアクセントとなっています。

E531系は走行線区が長い為、一緒に走行する多彩な仲間がいます。中でも同様に「上野東京ライン」の開業により品川からの直通運転が始まったE657系特急「ひたち」「ときわ」が勝田、いわきまで運転されていますので、Nゲージでもぜひとも一緒に走らせたい車両です。
また、朝晩を中心にE231系常磐線・上野東京ラインが快速として取手（一部成田線直通）まで運転されています。この編成は東海道線の東京口で、唯一グリーン車を連結していない編成としても注目です。
KATOの「E531系常磐線・上野東京ライン」は、人気の特別快速を含む上野東京ライン収録の行先表示シールが付属。基本セット（４両・グリーン車入り）、増結セットA（４両）、増結セットB（2両）の３ステップで基本10両編成が完成。更に付属編成セットを加えて15両フル編成まで目指せる製品構成となっており、お求めやすくなっています。

JR東日本商品化許諾済